

直貼用複合フローリングの施工説明書

この度は弊社製品をご採用頂きありがとうございました。
必ずこの説明書をよくお読み頂き、商品の特徴をよくご理解の上、施工してください。
こちらは**直貼用複合フローリングの施工説明書**ですのでご注意ください。

① 施工前の注意事項

- 立て掛けの保管や湿度の高い場所や直射日光の当たる場所での保管は反り、捻れ、スキ、突き上げの原因になるので、必ず避けてください。(多湿な環境での使用は避けてください。)
- 必ず下記のモルタル下地の仕上げと乾燥度を確認してください。確認しないと、浮き、沈み、床鳴りなどの不具合が生じる恐れがあります。
- **本品は平坦な床材の上に敷くことを想定して作られています。モルタル面へ直置きする際に、不陸が出ないように下地処理を予めすること。**
- 床材乾燥材のため、開梱後すぐに施工をしてください。雨濡れしたものは使用しないでください。
- 雨天など湿気の高い天候下では施工を控えてください。
- 接着剤をご使用の際に必ず換気してください。

② モルタル下地処理について

- モルタルの不陸は緩やかな場合は1mにつき、3mm以内で、部分的な凹部は深さが3mm以下で広さが100cm²以内であることを確認して施工してください。
- 特に部屋の隅は、ハネ上がりや落ち込みの無いよう、巾木や壁に直角に押さえてください。下地の不陸が大きいと、フローリングと下地の間に空間が出来ると、床鳴りや歩行時に不快感が生じることがあります。
- モルタルの乾燥度は、含水率10%以下で施工してください。水分が高い場合、乾燥によりモルタルに亀裂が生じやすく、フローリング間に隙間ができる等、不具合が生じる場合があります。
通常施工の目安は、モルタルの養生期間は1階部分で3週間、2階部分で2週間、デッキプレートは5週間以上必要です。特に厳冬期は、地域が同一でも現場によって差が生じます。環境を考慮し十分注意願います。

確認方法

モルタル面に新聞紙を1、2枚広げ、一昼夜放置し、モルタル面が黒くならないことを確認する。

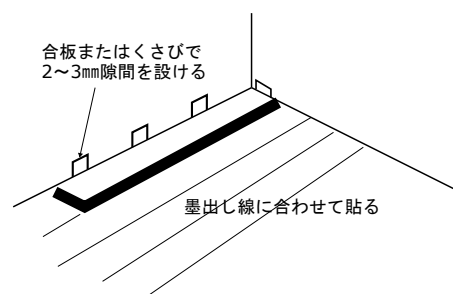
- モルタル面が平滑でない場合は、モルタル表面に付着している異物を除去し、残留セメントがある場合はワイヤブラシ付ポリッシャーで表面の残留セメントを取り除いてください。
ゴミやホコリなどもすべて除去してください。

③ 仮並べ

- 表面の単板は天然木を使用しているため、木目や色に違いがあります。
貼り始める前に必ず仮並べをし、色・柄など全体のバランスを取って施工してください。
- 特に気になる木目や色が入った材料は、目立たない場所に貼る等、工夫をしてください。

④ 床材の貼り付け

- 貼り付ける前に、掃除機やほうきで下地表面がきれいに清掃されているかを再確認してください。
- 貼り付ける前に、予め基準墨出し線を引き、割り付けや色合わせをチェックし、巾木までの寸法等を測定し貼り始めの巾決めをしてください。巾決めをした製品をカットして、エンドの接着部が1か所に集中しないように、割ってください。
- 接着剤は、コニシ(株)製 KU928R(S/W)等直貼専用の接着剤をご使用ください。メーカー推奨の塗布量を必ず守ってください。
必ず直貼専用の接着剤を使用してください。
(専用接着剤以外のもを使用すると、接着不良や床鳴りが発生することがあります)
- 接着剤を「ヘラ(コテ)」を使って下地に均等に塗布してください。
乾燥に気を付けながらゴムハンマーを用いて表面をたたき、目スキが出ないように貼り込んでください。
サネを嵌合する場合には、ゴムハンマーなどで無理に叩き込んだり、足でけったりしないでください。
サネ嵌合部には、施工用接着剤が付着しないように施工してください。
- 合板やくさび(現場調達)などにて壁際から2~3mmの間隔を設けるように施工してください。
- 貼り始めと、納めの部分や巾決めのカットした箇所は、サネがカットされて浮きやすいため、特に注意を払って押さえ込んでください。
床材が浮く場合は、重さが均等な重石を置いて約1日圧着してください。
(短手嵌合部は押さえないでください)
突き上げや踏み鳴りの原因となりますので、サネを差し込む際は、ハンマーなどで無理にたたき込まないでください。
- 接着剤がフローリング表面又は巾木等に付着しないように注意し、付着した場合は、素早く取り除いてください。
(固まると除去できなくなります)
- 貼り付け終了後、他の工事を行う際は、接着剤が付着しないよう、保護シート等でしっかり養生してください。
- 施工終了後、夏場は12時間、冬場は24時間、立ち入り禁止としてください。
- 貼り付け1日後、隙間確保用の合板・くさびを取り外し、巾木またはシーリングで隙間を隠してください。



⑤ 貼り付け後の注意点

- フローリングの表面に擦り傷が付かないよう養生シートを敷き、床用養生テープで止め、その上に保護用ダンボールや合板を敷いて養生してください。
- 壁際は、石膏ボードの粉がたまりやすく、木目に入ると除去しにくいので、壁際まで隙間なく養生をしてください。
- 養生テープは、接着が弱いテープを使用してください。長時間接着を続けると、フローリングの表面に糊が付着するので、ご注意ください。
- 養生テープは、フローリングではなく巾木などに貼ることをお勧めいたします。急激に剥がしたり、粘着の強いテープを使用すると、オイル塗装が粘着テープにつき、その部分が薄くなります。色の濃い塗装品は薄くなると目立つため、十分留意願います。
- 室内の換気は十分に取ってください。特に夏場の高気温や冬場の急激な暖房もご注意ください。
- 養生が不十分ですと表面や木の目にほこりやチリが残り、通常のクリーニングでは取れなくなることがあるため、特に色の濃い塗装品の養生には十分ご配慮ください。

免責事項

- 天然無垢素材を使用しているため、特有の色ムラ、柄の違いがあるので、ご使用前に十分ご理解の上、施工してください。品質以外の原因での返品・交換はお受けいたしかねます。
- 商品開梱時に品質上の問題が見つかった場合は施工せずに、7日以内に弊社にご連絡してください。施工後のクレームは原則としてお受けいたしかねます。